

会 議 名	第 20 回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成 30 年 10 月 23 日(火曜日) 午後 6 時 00 分から午後 8 時 15 分まで
開 催 場 所	区役所 9 階 911 会議室
委 員	(出席者) 大倉 富美雄 委員 倉田 直道 委員 齋藤 潮 委員 沼田 麻美子 委員 山崎 誠子 委員 渡邊 大志 委員 岡元 隆治 委員 小倉 敬子 委員 須佐 直人 委員 (欠席者) 杉山 朗子 委員
	(臨時委員：港区景観アドバイザー) 藤野 珠枝 氏 一糸 左近 氏 園 さゆり 氏
事 務 局	街づくり支援部長、街づくり事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議事 ・平成 30 年度景観表彰 受賞施設等の決定について (報告事項) ・第 3 回区民景観セレクションの実施について (審議事項) 3 閉会
配 付 資 料	資料 1 - 1 平成 30 年度港区景観表彰の結果について 資料 1 - 2 選定された施設等の一覧 資料 2 - 1 第 3 回区民景観セレクションの実施概要 資料 2 - 2 第 3 回区民景観セレクション募集ちらし (案) 参考資料 1 第 2 回区民景観セレクション募集ちらし 参考資料 2 港区景観表彰実施要綱 参考資料 3 港区景観表彰選定審査会運営要領

会議の結果及び主要な発言

2 議事

・平成30年度景観表彰 受賞施設等の決定について（報告事項）

事務局

（事務局から説明）

・第3回区民景観セレクションの実施について（審議事項）

事務局

（事務局から説明）

A委員

今後の展望で、50選を3年間で目指すというのは、いつどこで決まったものか。

事務局

決定したということではなく、数値目標として、目安として示した。

A委員

このように積み上げていくというのは非常にいいことだと思っており、もっと早くやったほうがいいのではないかと思った。オリンピックまでに間に合ったほうがいいという考え方もある。また、31回港区世論調査報告書で、港区民2,000人を対象に、誇り、愛着を感じられる港区の景観を聞いたところ、「東京タワーやレインボーブリッジなど、東京を象徴するランドマーク景観」というのが65.7%と圧倒的に多い。予想どおりであったが、今回の資料では、名所や立派な景観の応募が多いということが、課題として取り上げており、これには疑問がある。50なり100なり選んだ中に定番が入ってもいいのではないか。こうした調査を反映させるべき。テーマの中にランドマークがないので、ランドマークは入れるべき。

会長

ランドマークが消えたのは、なぜか。

事務局

東京タワーとかぶるため、混乱を避けるという意図で消していた。

会長

これは、課題というべきではなくて、これまでの傾向だから、街かどのような小さな景観も入るように工夫したいということではないか。

事務局

東京タワーを選んだのは、これまで様々な議論の場で話題にあがったこと、また東京タワーの節目の年ということなどを踏まえて、メインテーマに設定した。ランドマークという視点も大切だと思うので、選択応募部門にランドマークを加える。

A委員

100なら100選ぶというときに、50なら50選ぶというときに、ランドマークをある程度入れていこうということとワンセットであると思う。

<u>B委員</u>	<p>今回メインテーマとして扱ったら、次回以降、東京タワーは募集しないということか。例えば今回をボリューム1として、今後も引き続き募集するとか、ランドマークのテーマの中で東京タワー部門として募集してはどうか。東京タワーは様々なところから見えるので、1回のみで終わるとするのはもったいない気がする。</p>
<u>会長</u>	<p>今回、メインテーマとするが、これが終わった後も、ランドマークというのが残って、そこでまた別途応募してくる人もいると思う。</p>
<u>C委員</u>	<p>ランドマークとしてのレインボーブリッジや東京タワーというのは、視点場を評価するいいチャンスだと思う。ランドマークを積極的に取り入れると同時に、視点場のユニークさが必要だと思う。ここからもこう見えるが、そこは知らなかった、というような意外な発見性というのを期待したい。ランドマークプラス発見性というのをPR、強調していったほうが、よりわかりやすいのではないかな。</p>
<u>会長</u>	<p>どのような景観を通して東京タワーを眺めるのかということかと思う。</p>
<u>D委員</u>	<p>公募チラシ案の注意事項のところにある、「過去にセレクションに選出された景観を対象外とする」という一言の範囲が非常に曖昧であり、応募者の数を少なくすることにつながる懸念がある。例えば、メインテーマ部門の「台場とその周辺」というのは、「歴史・文化」として選んでいるが、一方で選択応募部門の「水辺」に分類されている「レインボーブリッジから見るお台場方面」も選定されている。おそらく「台場とその周辺」は台場というコンセプトそのものに焦点が当たっている。「歴史・文化」関係で、「レインボーブリッジから見るお台場方面」は下のほうの海に焦点が当たっているのは「水辺」になっていることは理解できる。そのような考えであると、例えば次回の公募で、第3台場、もしくはその向こうの台場埠頭から、レインボーブリッジを介して東京タワーが写っているというような写真が出てきたとしても、これはこれまでの景観と重複しないと思う。しかし、このチラシだけを見た区民の方はそのように思わないのではないかな。「過去にセレクションに選出された景観」という範囲の定義が、区民の方にわかっていただかないと、判断が難しく、なるべく誰でも気軽に応募できるという精神と合わないのではないかな。</p> <p>また、昨年、審査したものの中に、地下駐車場から出たときに、暗闇からぱっと視界が開けて東京タワーがずっと写っているという写真があり、個人的には、すばらしい視点だなと思った。逆に、構造物しか写ってはいないけれども、その視点でしかない東京タワーの風景という意味では、今回の対象になってもいいのではないかな。いずれにしても、間口を開く方向で、注意事項の文言や厳密性をできるだけ和らげるのが良いと思う。</p>

<u>会長</u>	なかなか難しい課題だが、全く同じものが出されても困るが、お台場が1度出たから、お台場は全然だめなのかと思われても困るということ。
<u>A委員</u>	駐車場入り口から見た東京タワーの絵はいい絵だと思ったが、景観とは少し違うカテゴリーではないかと感じた。インスタ映えするようなところと、いわゆる観光資源を含めた景観と、その線の引き方というのは、考えていただきたい。
<u>会長</u>	北斎のような富嶽三十六景の桶の中に富士があるみたいなものが出始めてくると、写真の構図のおもしろさだけで公募が来る可能性もある。写真コンテストではないということなので、その辺をどうやって伝えるかが課題。
<u>事務局</u>	発言の趣旨を踏まえて、注意事項の書き方については事務局のほうで整理をする。
<u>I 臨時委員</u>	審議会委員による予備選定をふまえて、審議会委員長、副委員長・景観アドバイザーなどを含めた景観表彰選定審査会において最終審査を行った。その際には、応募案件を、自分の足で歩き、見て、インスタ映えではなく、本当に「景観」であるかという意識をもって評価し、また審査会で議論をしながら選定した。よって、仮にインスタ映えするようなもので、皆さんからの評価が高かったとしても、景観ではないとして最終選定から外したものもあり、「港区の景観」というものを審査会委員としての目で見て選んできたつもりである。先ほど指摘のあった台場は、台場というものを視点に捉えた景観であり、グランプリでないほうは海に焦点があたっている。レインボーブリッジを歩いてその視点場を見付け、両方をしっかり見て選んでいる。そうした審査会があるということも信頼していただければありがたいと感じる。
<u>E委員</u>	チラシに単純に「港区区民景観セレクション」とあるが、知らない人が見ると展示会の案内のようにも見える。募集という言葉を入れたほうが良い。また、メインテーマ部門、選択応募部門と大きく2つの部門があることが、もう少し最初からはっきりとわかって、分かれていることがわかったほうがいいのではないか。さらに、分類として「自然・地形」、「歴史・文化」、「通り」、「街かど」、「水辺」とあるタイトルを強調したほうがいいのではないか。つくり方で、もう少し、わかりやすくシンプルにならないかというような印象を持った。
<u>D委員</u>	本来は、応募していただく方には、今年度のセレクション選定に当たっての評価コメントを見ていただくと、結果的に、写真コンテストではないというのが伝わると思う。一概に台場が写っていればいいというものでもないし、写っていなければいいというものでもないと思う。それが、審査会で丁寧に仕事をしていただいた財産だと思うので、インターネット上で公募する際等に、ぜひ昨年度の評価コメントを出し、こうした財産をぜひ生かしていただくといいかと思う。多分、景観そのもののコンテ

	<p>ストだというものが、ニュアンスとしては十分伝わると思う。</p>
<p><u>C委員</u></p>	<p>おそらく応募してみようという人には、すぐ同時に情報が手に入りやすくなっていると、より応募者数が増えることにもつながるのではないかと。</p>
<p><u>F委員</u></p>	<p>基本的には、区民が選ぶ景観ということなので、細かく景観とは何かということまで説明して、あまり難しくしてしまうと、なかなか応募しにくいと思う。ここまでの議論を通して、確かに東京タワーというのはランドマークだと思うが、ランドマークということとランドマーク景観とでは、どこが違うのかということが重要であると感じた。今年のメインテーマの設定の仕方というのは、まさにランドマークを選べと言っているのではなくて、ランドマークである東京タワーがどのように見えるかということに期待しているわけであるから、この設定の仕方は非常に好ましいと感じた。また、パンフレットの評価コメントの中で、景観に対する視点を含む、どのような形で評価されたかが書かれており、これは審査をする方がかなり丁寧に読んで評価された結果だと思う。これまで選定されたものを紹介することで、どのような視点で評価されるのかが伝われば、回を重ねるごとに、少しずつ、質的にもいいものになっていくのではないと思う。加えて50選、100選の話は、単純に、数が50になったから、まとめて50選にするというのは、少し違うと感じる。私も100選の選定をやったことがあるが、100選を選ぶときと、1つ1つを選定するときとは、少し意味合いが違ってく。50選、100選を選ぶときは、これまで選ばれたものは対象になってもいいと思うが、改めて50選、100選を選ぶときの視点が必要であると思う。</p>
<p><u>G委員</u></p>	<p>3回目になるが、どれくらいの区民の人がこの存在を知っているのか気になる場所である。学校等でチラシを配るなど、もう少し積極的に広めるようにすると、いろいろな年代の人から、違った角度で捉える景観が応募されることにもなる。そろそろ広げていく時期ではないかと思う。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>周知する方法はどのようなことを考えているか。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>港区各施設でのポスターの掲示・チラシ配布に加え、昨年度は、JR・地下鉄各駅でのポスター掲示を依頼し、なるべく目につくよう工夫をしている。小学校へも積極的に働きかけをしたい。</p>
<p><u>H委員</u></p>	<p>ここまで細かく、かつ景観アドバイザーの先生も丁寧に審査に加わっているということで、間違っている方向ではないと思う。数を集めるのが大変な自治体のほうが多い。そういう意味では、港区はものすごくネタがあり、贅沢な悩みだとも感じた。ソフトに景観セレクションを捉えてもらって、ハードルが低く、みんながスマホ片手にぱっと応募してくれる感覚がうまく伝わればいいと思う。</p>

<u>A委員</u>	写真がなくて応募できますということが思いつきで応募してくれる方には一番いいメッセージなのかなと思う。なぜ、今年のメインテーマは写真が必須としたか。
<u>事務局</u>	東京タワーについては、的確にどのように見えるのかを把握したほうがいいだろうという議論を踏まえ、写真を必須としたが、ほかのテーマでは写真なしの応募も可能とした。混乱を避けるため、あまり写真の要否だけを強調しないようにした。
<u>C委員</u>	写真がないと、事務局が、それはどこから撮ったのかとか、どこを言っているのか、全部チェックしなければならなくなり、手に負えないということもあると思う。
<u>会長</u>	メインテーマを「東京タワーのとおきおきの景観」と打ち出しているが、チラシに東京タワーが写っている写真と写っていない写真があり、戸惑うのではないか。また、メインテーマ部門は、写真と一緒に応募が必須という注意書きは、裏面の申し込み用紙側に書いたほうがわかりやすいのではないか。
<u>F委員</u>	これは悪いということではなく、結果かもしれないが、第2回の選定では、同一の応募者が選ばれている。他の人が、自分が応募してもあまり可能性がないという捉え方をしたり、セレクションが開かれたものかどうか疑問を受けとめる人もいるかもしれない
<u>D委員</u>	今の意見は、非常に根深いと思う。これまでも議論があったと思うが、景観を表彰しているのであって応募者を表彰しているのではないという、わかりづらさがある。
<u>会長</u>	悩ましいのは、応募された方も、仮に重なったとしても、全然違うものを出してきているわけです。それが、結果として、評価に値するものだとすると、仕方がないという気もする。
<u>F委員</u>	極端なことを言うと、非常に景観の目利きがいて、その人がきれいな写真を撮って5点出せば、ひょっとしたら5点全部選ばれるかもしれない。そのような可能性もあるというだけなので、それをあえて外すかどうかという話は、また別だと思う。
<u>I 臨時委員</u>	応募者名は、審査の段階では、最後までわからなかった。同じ応募者が選ばれているのは公正な目で判断した結果なので、これを見て区民の方がどう思っても致し方ないというのが今の段階ではないか。
<u>事務局</u>	様々な意見をいただいたので、これを踏まえて公募方法の検討を行う。

<u>事務局</u>	3. その他 (景観協議案件の報告)
<u>事務局</u>	次回の港区景観審議会は、改めて日程調整を行ったのち連絡する。
	閉会